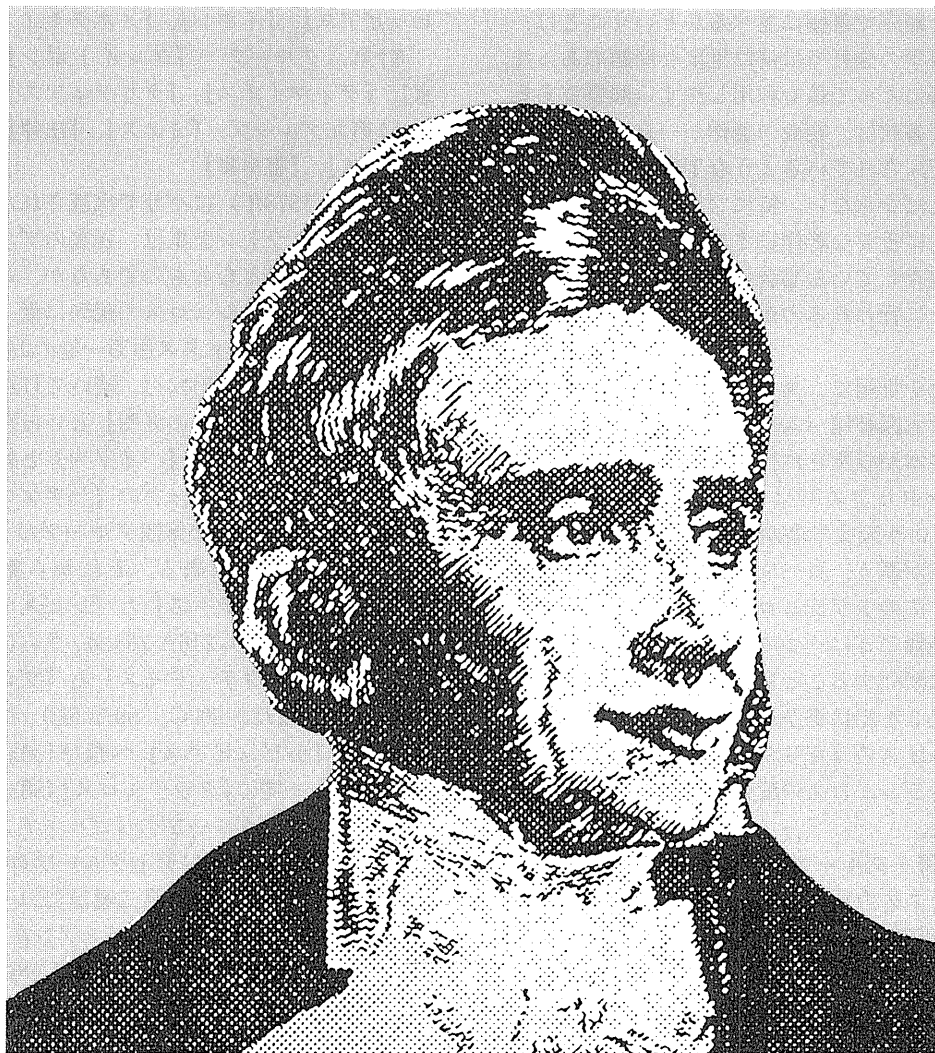


閲覧ニュース

78号

1996. 7



チャールズ・グッドイヤー

プラトンの著作の順序について

山根 和平

ひとりの人が複数の著作を書き、かつ複数の著作が現存しているとき、それらの著作をどんな順序で書棚に並べるかということは、人文科学の分野では特に重要な問題であった。研究者にとって最も利用しやすい図書室あるいは図書館は、複数の著作が一定の順序で書架に配列されているような工夫が行われていなければならない。特にプラトンのように、歴史的に重要な著作家であり、かつ多数の著作が現存している場合には、配架は慎重な思慮の上に行われるのが当然と言ってよいであろう。

紀元1世紀に、エジプトのアレクサンドリアには大図書館（ムーセイオン）があり、多数の写本が収集されていた。同じ時期にアレクサンドリアの町にトラシュロス（Thrasyllus）という天文学者が住み、ティベリウス帝の信任が厚く、ローマの市民権を与えられていた。このトラシュロスが、プラトンの著作を四種類ごとに一つのグループとしてまとめ、書架に配列することを考えたようである。

紀元3世紀に書かれたディオゲネス・ラエルティオスの『ギリシア哲学者列伝』によれば、トラシュロスの配列は次のようなものであった。

- 1) 第一グループ 『エウテュプロン』、『ソクラテスの弁明』、『クリトン』、『パイドン』
- 2) 第二グループ 『クラテュロス』、『テアイテトス』、『ソピステス』、『ポリティコス』
- 3) 第三グループ 『パルメニデス』、『ピレボス』、『饗宴』、『パイドロス』
- 4) 第四グループ 『アルキビアデスⅠ』、『アルキビアデスⅡ』、『ヒッパルコス』、『恋がたき』
- 5) 第五グループ 『テアゲス』、『カルミデス』、『ラケス』、『リュシス』
- 6) 第六グループ 『エウテュデモス』、『プ

ロタゴラス』、『ゴルギアス』、『メノン』

7) 第七グループ 『大ヒippias』、『小ヒippias』、『イオン』、『メネクセノス』

8) 第八グループ 『クレイトポン』、『国家』、『ティマイオス』、『クリティアス』

9) 第九グループ 『ミノス』、『法律』、『エピノミス』、『書簡集』

16世紀（1578年）にパリで出版されたステファヌス版プラトン全集は、現在のプラトン哲学研究の基礎となるものであるが、この全集も、最初はトラシュロスの配列に従っている。つまり、ステファヌス版第一巻の2A から16までが『エウテュプロン』、続いて17A から42までが『ソクラテスの弁明』といった具合で、以下『クリトン』、『パイドン』と続くが、その次は突然第五グループの『テアゲス』に飛び（121A-131）、次に第四グループの『恋がたき』（132A-139）が来る。それから第二グループの『テアイテトス』と『ソピステス』に移り（142A-210D、216A-268B）、さらに第六グループの『エウテュデモス』と『プロタゴラス』が入り（271A-307C、309A-362）、第七グループの『小ヒippias』へ飛び（363A-376C）、同グループの『クラテュロス』（383A-440E）を経て、第六グループの『ゴルギアス』へ戻り（447A-527E）、再び第七グループの『イオン』で終る（530A-542B）。第二巻は『ピレボス』（第三グループ）から始まり、『メノン』（第六グループ）、『アルキビアデスⅠならびにⅡ』（第四グループ）、『カルミデス』（第五グループ）、『ラケス』（同）、『リュシス』（同）、『ヒッパルコス』（第四グループ）、『メネクセノス』（第七グループ）、『ポリティコス』（第二グループ）、『ミノス』（第九グループ）、『国家』（第八グループ）、『法律』（第九グループ）と続いて、『エピノミス』（同）で終わる。第三巻は『ティマイオス』（第八グループ）で始まり、

『クリティアス』(同)、『パルメニデス』(第三グループ)、『饗宴』(同)、『パイドロス』(同)、『大ヒippias』(第七グループ)、『書簡集』(第九グループ)と続いて、『クレイトポン』(第八グループ)で終わる。

トラシュロスの配列は、岩波版プラトン全集が、それに従っているように、研究者にとって慣習とも言える順序であるが、他方ユスティヌス版の順序も、同版の頁数がプラトンを引用する場合の基準となっていて、無視するわけにはいかない。両者の喰い違いは、研究者にとって、はなはだ厄介な事である。しかも、両者ともに著作年代の順序ではない。図書館の書棚に配架する場合には、どの順序をとるのが良いのかは簡単には決められない。日本語訳の場合には岩波版プラトン全集が前述のようにトラシュロスの順序に従っているので、同版を第一巻から第十五巻まで順に配架すれば、自動的にトラシュロスの順序になる。ともかく、人文科学にとって「調べる」とは、このように面倒なものである。しかし、同時に人文科学の研究者にとっては、調べ物をしている時ほど悦楽の時はないのである。

(哲学)

相互貸借について

探している文献が教養図書館で見つからない時、諦めないで1階メインカウンターで相談して下さい。必要とする図書や雑誌論文が当館にない場合、他の図書館との協力によって、それを取り寄せることができます。相互貸借は、閲覧・貸出・複写のいずれかの形で行われます。申込みは、1階メインカウンターで「相互貸借申込書」に記入して下さい。

※閲覧 相手館に連絡し、紹介状を発行します。

※貸出 国立国会図書館・横浜国大附属図書館はじめその他貸出可能な図書館のものに限りします。

※複写 文献を複写物の形で取り寄せます。現物が届くまで約1週間を要します。

尚、複写料金・郵送料・手数料は申込者の負担になります。

研修室の開放

3階研修室を前期試験に備えて、閲覧室として開放します。どうぞご利用下さい。

期間：7月16日(火)～7月24日(水)

時間：午前9時～午後7時(平日のみ)

北里大学図書館共通利用カードを受け取っていない人へ

新しい図書館システム導入に伴い、図書館を利用するときには、「北里大学図書館共通利用カード」が必要です。相模原キャンパス4図書館共通のもので、まだ受け取りにきていない人は、教養図書館1階メインカウンターまできて下さい。

医学部・医療衛生学部は医学図書館、理学部は理学図書館、看護学部は看護学部図書館カウンターで受け取って下さい。又、紛失してしまった人は、各所属の図書館カウンターで速やかに再発行手続きを行って下さい。

平成 7 年度 教養図書館統計

1. 開館総日数 275日

2. 年間入館者数 120,176人

一日平均入館者数 437人

3. 施設使用状況

記念室	研修室	ゼミ A	ゼミ B	教職員閲覧室	合計
80	205	249	122	3	659

4. 学部別貸出比率(全学年)

	単行本	雑誌	合計	貸出比率
衛生・理学部	1,970	178(33)	2,148(33)	25.4
医学部	264	32(4)	296(4)	3.5
水産学部	659	22(3)	681(3)	8.0
獣医学部	1,633	41(8)	1,674(8)	19.8
薬学部	1,022	33(8)	1,055(8)	12.4
看護学部	440	22(2)	462(2)	5.5
医療衛生学部	2,012	144(24)	2,156(24)	25.4
合計	8,000	472(82)	8,472(82)	100

()内の数は、Over night を示す

5. 雑誌現行受入タイトル数

	購入	寄贈・交換	研究室用	小計
国内雑誌	312	514(481)	19	845(481)
外国雑誌	48	4(2)	17	69(2)
合計	360	518(483)	36	914(483)

()内の数は、紀要のタイトル数を示す

6. 雑誌タイトル別貸出ベスト5

順位	合計	雑誌名	学生	教職員
1	37	日経サイエンス	35	2
2	35	TIME	2	33
3	26	暮らしと健康	24	2
4	25	Newton	24	1
5	22	からだの科学	18	4

7. 現有蔵書数(視聴覚資料・単行本)と平成7年度貸出数

(平成8年3月31日現在)

蔵書数		比率 (%)	主 題	NDC	貸出数(冊)	比率 (%)
AV資料	単行本(冊)					
811	5,904	7	総 記	000	276	3
16	7,101	8	哲 学	100	654	7
99	8,662	9	歴 史	200	332	3
111	12,486	13	社会科学	300	631	6
205	22,338	24	自然科学	400	5,072	52
77	2,706	3	工学・工業	500	390	4
106	1,231	1	産 業	600	77	1
1,180	6,001	8	芸術・体育	700	519	5
784	5,460	7	語 学	800	380	4
67	15,890	17	文 学	900	1,176	12
0	2,884	3	未 分 類	新書等	274	3
3,456	90,663	100	合 計		9,781	100

8. モーニングシアター上映回数 213回

9. なんじゃもんじゃの会開催数 1回

1995年5月26日(金)

テーマ：注目 (医療衛生学部2年 内山仁志さん)

コロンブスがハイチ島から持ち帰ったゴムは、暑くなるとべたつき、寒くなると硬くなって弾力がなくなり、しまいにはヒビが入ってしまうといった性質を持ち、あまり利用価値のないものであった。このゴムを価値あるものに変えたのが表紙のチャールズ・グッドイヤーである。アメリカ人の彼は、コネチカット州の金物商であったが、趣味でゴムの研究をしていた。1839年の冬のある日、突然の来客があり、研究中のゴムと硫黄をストーブの上に置いたままその場を離れてしまった。部屋に戻ってみるとゴムと硫黄は燃え上がっていた。火を消し止め、翌朝そのゴムを手にしてみると寒い朝にもかかわらずゴムは硬化していなかった。ゴムに硫黄を混ぜて熱を加えると、低温下でもゴムが硬化しないという「熱加硫法」はこうした偶然の産物として生まれた。この発見で、ゴムの弾力を温度変化に関係なく維持することが可能になり、ゴムは工業的に広く用いられるようになった。その後、1888年にスコットランド人のダンロップが高速走行に適した空気入りタイヤを発明し、車の性能向上に貢献した。当時のクリーム色(ゴムの原液の色)のタイヤは、強度が弱くパンクや減りの早さによるタイヤ交換が大変であったと聞く。イギリスで、タイヤを区別するために添加されたカーボンブラックは、偶然にもゴムを格段に強化し、タイヤの耐久性の向上に寄与することになった。この技術を積極的に取り入れたのがイタリア人のピレリで、1907年の北京ーパリ自動車レースに出場したイターラは、カーボンブラックで強化されたピレリタイヤを履き、ライバルに3週間もの大差をつけて圧勝した。それ以来タイヤ

須 貝 昭 彦

が黒くなったことは言うまでもない。

現在のゴムは、戦時中の合成ゴムの開発など幾つかの変遷を経て、タイヤと共に性能がさらに向上した。ゴムがタイヤという形で、社会経済を支えようとは、グッドイヤーとして想像もしなかったことであろう。

(化学)

夏休み中のお知らせ

夏期休暇中の開館・閉館・貸出等については、下記の通りです。

1) 長期貸出

7月23日(火)～9月18日(水)

但し、雑誌は対象外です。

2) 閉館

8月1日(木)～8月7日(水)

蔵書点検の為閉館

8月12日(月)～8月17日(土)

一斉閉館

3) 開館時間

7月25日(木)～9月14日(土)

平日： 午前9時～午後5時

土曜日： 午前9時～午後1時

閲覧ニュース78号

1996.7 発行

北里大学教養図書館

〒228 相模原市北里1-15-1

発行責任者 横井 洋太

電話 (0427) 78-8005